

開講科目名／Course	薬理学Ⅱ	
ターム・学期／Term・Semester	2025年度／Academic Year	1 学期／First
開講区分／semester offered	1 学期／First	
単位数／Credits	1.0	
学年／Year	3	
主担当教員／Main Instructor	吉田 成一	
担当教員名／Instructor	吉田 成一	
必修・選択 ／compulsory subject	必修	
講義形態 ／Class Type	講義	
授業回数	10	
科目の目的と概要	医療において、薬物療法の重要性は高く、医療現場において、看護師が医薬品を取り扱う機会は多い。取り扱う医薬品に対する理解が不十分であると医療事故の原因になるため、本科目を設定している。各種疾患で使用する医薬品の特徴を理解し、看護師として疾患の薬物療法および医薬品による医療事故の予防に関する知識を修得する。	
到達目標	1. 疾患の治療に医薬品を使用する理由が説明できる。 2. 看護師として医薬品の知識が必要となる理由を説明できる。 3. 各種疾患治療薬の作用機序、副作用などの特性を説明できる。	
DPとの対応	2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能	
授業計画	01. 消化器治療薬 02. 抗悪性腫瘍薬 03. 鎮痛薬 04. 麻酔薬、不眠症治療薬 05. 抗不安薬、抗うつ薬、統合失調症治療薬 06. 抗てんかん薬、パーキンソン病治療薬、抗認知症薬 07. 抗アレルギー薬、リウマチ治療薬 08. ホルモン製剤、泌尿器疾患治療薬、漢方薬 09. 鎮咳薬、去痰薬、気管支ぜん息治療薬、呼吸促進薬 10. 利尿薬、輸液製剤、解毒薬、貧血治療薬、抗血栓療法薬	
その他の授業の工夫	実際の処方内容を例示し、治療薬の理解を深める。 また、各回の事後学修についてGoogle Classroomを活用し、担当教員が適宜助言を行っている。	
時間外学修	事前学修：提示した処方内容について、対象疾患、副作用、使用するにあたり、注意すべき点（患者指導を含む）をまとめる（4h）。 事後学修：自主学習課題（学習ノートの提出を含む）を用いて復習するとともに、理解できない内容については、次回の講義までに担当教員等に確認する（15h）。	
評価方法と評価割合	試験（100%）	
テキスト	わかりやすい薬理学 第2版（ヌーヴェルヒロカワ） 今日の治療薬（南江堂）	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		